

生徒指導だより

防府市立中関小学校 2025.11 第10号

いじめアンケートへご協力いただき、誠にありがとうございました。たくさんの貴重なご意見をいただき、心より感謝しております。今回いただきましたご意見について、学校の方針をお示しします。家庭・地域・学校が連携して、豊かな心をもつ中関っ子に育てていきたいと考えています。今後ともよろしく願います。

いじめアンケート(保護者用・自由記述)より

・担任での範疇を越えそうだと感じた時点で学年主任が対応すべきだと思う。

→担任だけで判断せず、学年主任をはじめ学年部で情報を共有し対応できるように努めます。また、複数学年に関係するときは、生徒指導主任を中心としたチームで対応します。

・具体的にどのような対策やフォローがされているのか共有していただきたい。

→年間をとおして、「人の物や体に勝手に触らない」「自分も友達も(周りの人)も大切にする」「学習に不必要なものは持ってこない」などを指導しています。実態に応じて各学年や学級でも、みんなで考える時間をその都度設定しています。そして、自分自身を見つめ直すことができるようにするために、定期的に振り返る活動を行っています。また、生活アンケートや教育相談などをとおして、一人ひとりの思いを大切にすることを心がけています。生活アンケートについては、生徒指導主任、管理職が全てに目を通しています。

・親の前で子どもに注意してほしい。

→内容や場合によっては、そのようなことも考えられます。学校では、子どもの心を耕し育てることを大切にしています。叱る場面や諭す場面など形態はさまざまですが、教職員の願い「どのような子どもに育ててほしいか」を明確にして粘り強く指導を続けていきます。また、家庭連絡を行って、子どもに指導したことを説明するようにしています。

・原因とその子どもに合った対策法を考えること。

→ご指摘のとおり、学校も一人ひとりに合った対策方法を考えることがよいと考えています。そのために、保護者との連携や情報共有を大切にしていきます。また、教職員は児童理解に努めるために実践を振り返ることや研修を重ねていきます。

・今の取組を、もしものときにしっかりと対応していただきたいです。小さなことでも子どもたちの話を聞いたり、寄り添ったりしてほしいです。

→教職員が日々の出来事を小さい、大きいと判断せず、まずは子どもの話を丁寧に聴くことを大切にしていきます。

・いじめが発生した場合、子どもは最初に言わないかもしれませんが、先生と保護者はすぐにコミュニケーションをとる必要があります。

→子どもたちの表情や行動の様子に少しでも変化を感じたら、保護者の方と共有するようにします。ご家庭でもお子様の様子で気になることがありましたら、遠慮なく学校にご連絡ください。

・近年のいじめは、SNSを使用して保護者や先生に気付かれないように巧妙化している傾向にあると思います。

→子どもたちにとってもスマートフォンをはじめ、SNSが身近なものとなりました。学校では、学年の実態に応じて「スマホやSNSが悪いわけではなく、正しい使い方を学び実践する」などのリテラシー教育やデジタルシチズンシップ教育も行っています。ただ、十分な時間が確保できていないのが課題です。大切なお子様のためにも、ご家庭での明確なルールのもと、正しく賢く使ってほしいと思います。

・まだ、「いじめ」と「いじり」と「ケンカ」の区別も分からないと思います。

→何がいけないのか、相手や周りの人がどのような気持ちになるのかを教えていく必要があります。そのような場面を逃さないように指導していきます。ご家庭でも、お子様の成長段階に応じて、ご指導いただきますようお願いいたします。

・先生方が見ていないところでの子ども同士の関係が分からないので不安な部分があります。

→担任だけでなく、担任以外も気を付けているところです。ご家庭では、登下校や放課後の遊び方について定期的に確認することをお願いします。

・いつもこのような取組をしてくださり、ありがとうございます。

→日頃から学校へのご理解・ご協力ありがとうございます。今後どうぞよろしくお願い申し上げます。

・物の貸し借りについて今一度子どもたちに指導していただきたいです。

→物の貸し借りは認めていないので、「人の物や体に勝手に触らない」ことについて日々指導していますが、今後も粘り強く指導していきます。

・うちの子も手をあげたことがあるようです。相手の子に心身ともに傷を負わせていたら申し訳ないので何かあればすぐに教えていただければ幸いです。いつもありがとうございます。

→指導したことや気付いたことは、関係している児童の保護者に連絡させていただきます。もしも相手を困らせてしまった場合は、相手の保護者にお気持ちを伝えておくことで今後のお子様の学校生活が良好になる場合が多いです。

裏面に続きます。

・無記名でのアンケートが書きやすいです。

→アンケートへのご協力ありがとうございます。学校は子どもの不安を1つでも多く解消したいと考えています。また、そのようなご意見があったことを教育委員会の方にも伝えます。

・別クラスの子が、大切にしていた物を壊されたという話を聞きました。

→その件につきましては、生徒指導主任、学年主任も関わって指導させていただきました。未然防止のために、今後なるべく多くの教職員で子どもたちを見守り対応していきます。

・先生方、友人、クラスメイト、地域の方々の見守りのおかげで元気に楽しく学校生活を送ることができています。感謝しています。

→日頃から学校へのご理解・ご協力ありがとうございます。今後どうぞよろしくお願ひします。

・学校側はすぐに対応してくださると聞いています。何かあっても安心できます。

→ご理解いただきありがとうございます。今後も子どもたちの安心・安全な学校づくりに取り組んでいきます。

・いじめる側、いじめられる側の介入は積極的に行うべきですが、周囲にいる子にも目を向けるべきです。

→ご指摘のとおりです。周囲で見えていても止めなかったらいじめに加担したことになる場合があります。大切なお子様が嫌な思いをしないように、いじめの構図も教えていきます。止めることはとても勇気があることですので、すぐに保護者や先生に言うか、週に1回の生活アンケート等で知らせるように声をかけています。いじめを止めたり、アンケートで教えてくれたりした人が嫌な思いをしないような指導も行っていく必要があります。

今回のアンケートで寄せられたご意見の多くは、「言葉づかい」に関わるものでした。日頃から指導を重ねているところですが、現状は課題が多いと感じています。「どんな理由があっても暴言・暴力はいけないこと」、「だめなものはだめ」と指導することも大切です。しかし、「そんなつもりじゃなかった」や、言葉が足りず相手を嫌な思いにさせてしまうケースも多いです。コミュニケーションの取り方、相手との距離感の捉え方や取り方にも課題を感じています。「何が良くて何がいけないのか」、「なぜいけないのか」、「言う必要があるのか」、「相手はどう思うのか」、「どのような言葉でどのように言えば相手に伝わるのか」を根気強く教えて考えさせる、そして自分自身の言動を振り返ることを継続して指導していきます。貴重なご意見を今後の学校の取組に生かしていきたいと思ひます。

最後まで読んでくださり、ありがとうございました。

**あいてのきもちをかんがえて
いじめをなくそう。**



いじめに関するクラススローガン